加賀藩

金沢＆富山県西部
エリアガイド

ゆかりの地を訪ねる旅

金沢　南砺　小矢部　氷見　高岡　砺波　射水

加賀百万石 参勤交代道中双六付き!

百万石の大藩を守り抜いた知恵を学び、

壱、百万石の「一番大名」

「加賀百万石」と称されますが、加賀藩の実際の石高は119万5000石に上ります。領地は加賀、能登、越中3カ国のほぼ一円に及び、外様の雄藩として徳川幕府も常に警戒を怠りませんでした。

前田家は徳川将軍家とも姻戚関係が深く、2代将軍徳川秀忠の娘・珠姫が3代当主利常に嫁ぐなど、徳川家から多くの正室を迎えました。このため家格も別格扱いで、「御三家並み」に位置づけられ、将軍に拝謁する際は御三家等が控える大廊下詰が許され、松平姓と葵紋の使用も許されています。

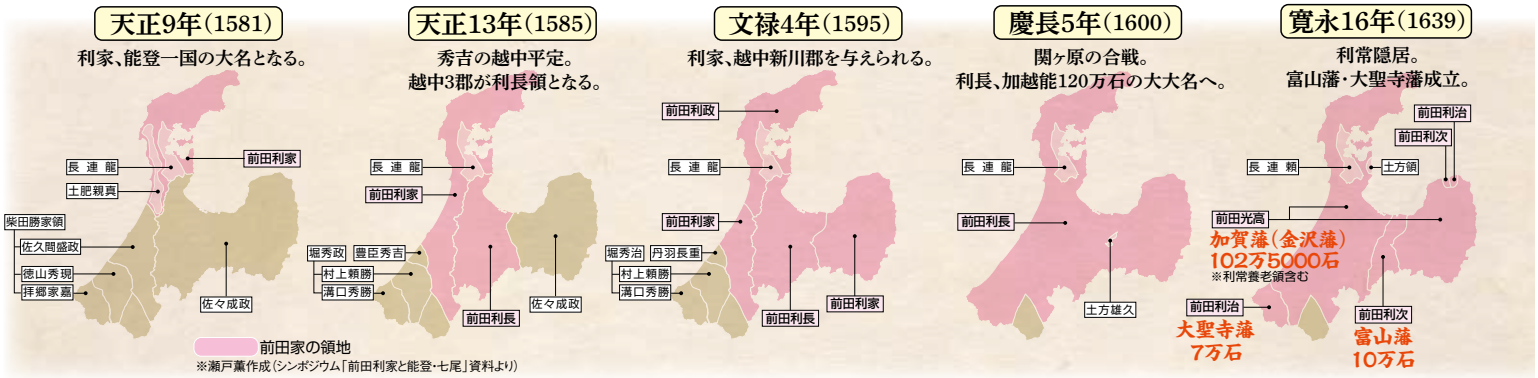
寛永16年(1639)3代当主利常隠居の際に、富山(10万石)、大聖寺(7万石)を分藩したため、加賀藩(金沢藩)は102万5000石(利常養老領含む)となりました。

国持大名石高トップ10

	家名	石高	居城
❶	加賀 前田家	102万石	金沢城
❷	薩摩 島津家	77万石	鹿児島城
❸	陸奥 伊達家	63万石	仙台城
❹	肥後 細川家	54万石	熊本城
❺	筑前 黒田家	52万石	福岡城
❻	安芸 浅野家	43万石	広島城
❼	周防 毛利家	37万石	萩城→山口
❽	肥前 鍋島家	36万石	佐賀城
❾	因幡 池田家	33万石	鳥取城
❿	備前 池田家	32万石	岡山城

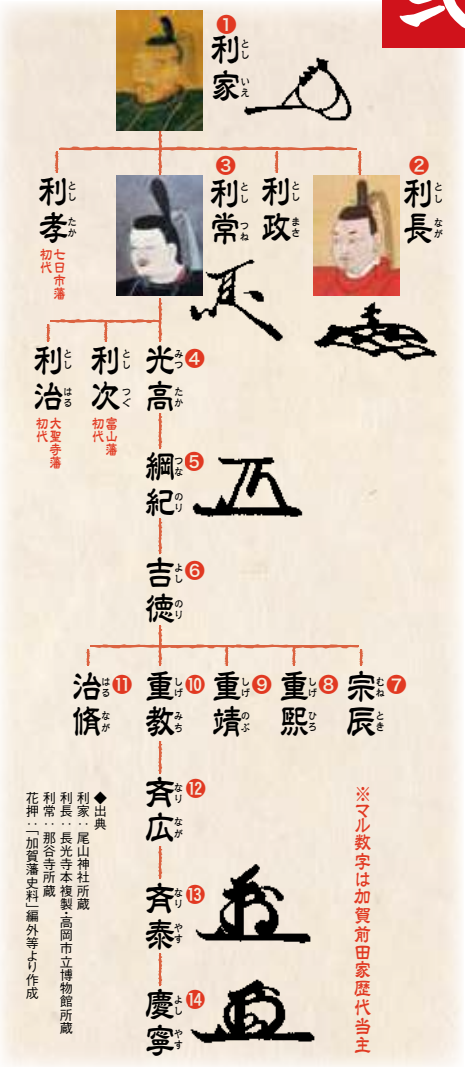
慶応3年(1867)時点。加藤隆著「近世大名家格制の研究」より

加賀藩の領地変遷



※瀬戸薫作成(シンポジウム「前田利家と能登・七尾」資料より)

加賀前田家略系図



弐、百万石を築き、守った歴代当主14人

藩祖利家は織田信長の赤母衣衆(親衛隊)として頭角を表し、天正9年(1581)に能登一国を拝領、豊臣政権では五大老として政権の中枢を担いました。

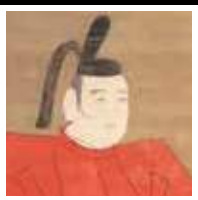
2代利長は関ヶ原の戦いで東軍方(家康側)として北陸で奮戦し、加賀二郡を加増され120万石の大大名として地位を確固たるものにしました。高岡の町も開いています。

3代利常は徳川との融和に努め、藩内の統治機構を整備、5代綱紀は今に息づく工芸文化、学問の振興を図りました。7代宗辰以降は早世が相次ぎ、加賀騒動と呼ばれるお家騒動も勃発。最後の藩主14代慶寧は藩政刷新を試み、幕府、西南雄藩とも距離を置く「三州割拠」の独立志向を強めますが、百万石の影響力を十分に発揮できませんでした。

参、加賀藩には大名が9人もいた!?


儀式風俗図絵「元日拝礼」
(金沢大学附属中央図書館所蔵)


前田直躬
(前田土佐守家資料館所蔵)


本多政重
(公益財団法人 藩老本多蔵品館所蔵)


奥村永福
(永福寺所蔵)

1万石以上の領主を「大名」と言いますが、加賀藩には大名並みの知行(石高)を持つ家臣が多く存在していました。

特に、人持組頭(軍団長)を務めた8家老は「加賀八家」と呼ばれ、本多家の5万石を筆頭に1万石以上を有する重臣が藩政に関与していました。そのため加賀八家と藩主前田家を合わせて「加賀には9人の大名がいた」と言われます。5万石を現在の貨幣価値に直すと約25億円(1石=1両=約5万円で換算)。年収25億円と言えばその大きさがわかるでしょうか。

実はそれ以外にも人持組の今枝家、津田家ら4家も1万石以上を有しており、加賀藩には大名が13人いたとも言えます。

加賀八家

元禄期成立時	初代当主	石高
本多政長	(政重)	5万石
長　尚連	(連龍)	3万3000石
横山英盛	(長隆)	3万石
前田直作	(直之)	1万1000石
前田孝貞	(長種)	1万8000石
奥村時成	(永福)	1万7000石
奥村庸礼	(易英)	1万2000石
村井親長	(長頼)	1万6500余石

今なお色濃く残る加賀藩の文化を紐解く

四、幕府との確執、加賀藩の生き残り戦略

加賀藩は二度、存亡の危機に立たされています。

一度目は利家死去後、徳川家康が天下取りに動いた慶長4年(1599)です。関ヶ原の戦いは上杉征伐が発端で勃発しますが、家康はその前に利長謀反の讒言をきっかけに加賀征伐を企てました。重臣・横山長知が弁明し、芳春院(まつ、利家正室)が人質として江戸に下ることで和睦しました。

二度目は幕藩体制も安定してきた寛永8年(1631)です。大火により焼失した金沢城を無断で修築したこと、船舶の購入や大坂の陣で武功があった者に再度論功行賞を行ったことを理由に、謀反の嫌疑をかけられました。利常、光高が江戸へ行くも将軍家光に会えず、重臣・横山康玄が弁明しやっとのことで事なきを得ました。

《慶長の危機》

慶長3年(1598)	8月	豊臣秀吉死去
慶長4年(1599)	1月	利家、秀頼の傅役として大坂城に移る
	2月	石田三成、利家とともに徳川家康の専横を糾弾(家康詰問事件)、和解
	閏3月	利家死去
	8月	利長帰国
	9月	利長への讒言あり、家康は加賀征伐を企てる
	11月	利長、横山長知を遣わし家康に弁明 この年、金沢に内惣構堀を掘る
慶長5年(1600)	3月	徳川家と和睦。利常、珠姫と婚約
	6月	芳春院、人質として江戸へ赴く
	8月	利長、東軍として出陣。浅井畷の戦い(北陸の関ヶ原)
	9月	関ヶ原の戦い
	10月	利長、加越能3カ国120万石を領有

《寛永の危機》

寛永8年(1631)	4月	大火で金沢城焼失
	11月	前田家、幕府に謀反の嫌疑をかけられる。 利常、光高が出府するも家光に目通りできず、 横山康玄の弁明で事なきを得る
寛永9年(1632)	12月	大姫(水戸光圀の姉、家光養女)、光高に嫁ぐ

利家vs家康 決死の神経戦

秀吉死後、専横なふるまいを強めた家康を止めるべく、利家は家康を詰問する。家康は表向き非を認め和解したが、秀吉が遺した秀頼補弼の遺言に忠実に応えるべく、利家は病を押して家康に詰め寄った。

伏見の家康邸で面談する際、利家は「家康われらを斬らぬは百に一、斬るは必定」「事あらばこの刀を以って一太刀斬るべき」と刺し違えの覚悟を漏らしたという。その後、病気見舞いの名目で家康が利家邸を訪れる際には、家康の謀殺を企てた。布団の下に抜き身の刀を忍ばせ、利長に「心得ておるな」と迫ったという。

事の真相は明らかではないが、最後まで秀吉の遺言を守ろうとした利家の律儀さと決死の覚悟を物語るエピソードである。



芳春院自筆消息(前田土佐守家資料館所蔵)
娘の千世宛。関ヶ原に参戦しなかった利政の処遇を案じ、家康の政治を鋭く批判している

伍、「政治は一加賀、二土佐」「加賀は天下の書府」

加賀前田家の名君と言えば、3代利常、5代綱紀が挙げられます。利常は幕府の強い警戒を巧みにかわして加越能3カ国を保ち、内政面では十村制の整備や治水事業で優れた治績を上げました。この藩政改革は「改作法」と呼ばれ、「政治は一加賀、二土佐」と称えられるほど盤石の態勢を築きました。

また、利常の後見を受けながら3歳で家督を継いだ綱紀は、美術・工芸・芸能等の産業や文化を積極的に保護・奨励しました。工芸の標本、古書の多くを編纂・収集した「百工比照」や、百科事典「庶物類纂」の編纂、東寺百合文書(国宝)の保存なども手がけ、新井白石から「加賀は天下の書府」と礼賛されました。



加州加賀郡炭竈村物成之事(村御印)
(金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵)



延宝金沢図(石川県立図書館所蔵)
城を取り囲む黒い部分が惣構



東寺百合文書
(京都府立総合資料館 東寺百合文書WEBから)

六、傑出した文化大名、加賀藩の伝統工芸

歴代の加賀藩主は、幕府の警戒を和らげるため文化事業に強い関心を寄せました。工芸発展の礎は「御細工所」の設置や、京などから招かれた「御用職人」の活躍によって固められ、蒔絵や象嵌など加賀藩独特の世界観を確立しました。

当時は武家の嗜みとして茶の湯がさかんであったことから、美術工芸品の名品を数多く収集したことも大きな影響を与えました。能楽も手厚く保護し、綱紀が金春流から宝生流に切り替えるとさらに盛んになりました。武家階級だけでなく植木職人や瓦ぶき職人にも親しまれて、「空から謡が降ってくる」とまで言われたほどです。これらの文化や伝統工芸は今も脈々と受け継がれています。



金箔



加賀宝生



高岡銅器



井波彫刻

参勤交代道中 双六

通り道 & 寄り道

この双六はイメージです。実際の加賀藩の参勤交代ルートとは異なります。

氷見



阿尾城跡

加賀藩祖・前田利家が京都に送った寒ブリをはじめ、土産とした干鰯、献上品氷見のうどんと昔から永く伝えられた食都がここにあります。

【氷見市観光協会】☎0766-74-5250
http://www.kitokitohimi.com/

必ず止まれ

ひみぶり
氷見の定置網漁は400余年の歴史を誇る。冬の「ひみぶりフェア」で天下一品のぶりづくしをご堪能あれ。

藤子不二雄Ⓐまんがワールド



©藤子スタジオ

ひみ番屋街
氷見漁港直送の回転寿司をはじめ、ご当地の人気グルメが味わえる飲食店など32店が軒を連ねます。

ひみ獅子舞ミュージアム

光久寺 1回休み

勝興寺 2マス戻る

戦国期は一向一揆の拠点として、藩政期は浄土真宗の触頭として権勢をふるった。

雨晴海岸
源義経が雨宿りをし、雨を晴らしたという伝説が伝わる。富山湾越しに立山連峰の絶景を望む。

ふりだし

新湊大橋

海王丸パーク

放生津八幡宮

射水



射水市新湊博物館

「天然のいけす」富山湾で育まれた新鮮な海の幸を存分に味わい、美しい水辺と伝統ある祭りを堪能できる町です。

【(一社)射水市観光協会】☎0766-84-4649
http://www.imizu-kanko.jp/

必ず止まれ

六が出たらふりだしに戻る

弐が出たら前田利長墓所に進む

松川除堤防

増山城跡

千光寺 2回休み

射水市竹内源造記念館

小杉展示館

出町子供歌舞伎曳山会館

となみ散居村ミュージアム

大門素麺

高岡



高岡城跡（高岡古城公園）

六が出たら本行寺に進む

歴史都市・日本遺産認定の高岡市は、加賀前田家2代当主・前田利長が開いた町で、以来、鋳物や漆器など「ものづくりの技」が脈々と息づいています。

【高岡市観光協会】☎0766-20-1547
http://www.takaoka.or.jp/

必ず止まれ

金屋町

庄川水記念公園
庄川観光の拠点。砺波平野を潤す庄川の水と暮らしの関わりを感じられる施設。

山町筋

前田利長墓所 1回休み

高岡御車山会館

高岡大仏
奈良、鎌倉と並び日本三大仏に数えられる。銅器のまち高岡の象徴。

瑞龍寺 2マス戻る

八丁道
前田利長墓所と、菩提寺である瑞龍寺をつなぐ参道。石灯篭が続く。

砺波



加賀百万石を支えた米どころ砺波平野には、屋敷林に囲まれた農家が碁石をちりばめたように点在する国内最大級の散居村が広がっています。

【砺波市観光協会】☎0763-33-7666
http://www.tonami-kankou.org/

必ず止まれ

砺波民具展示室
約50年の歳月をかけて収集した民具約12000点を収蔵展示しています。

砺波チューリップ公園
春のフェアは北陸を代表するイベント。隣接する四季彩館は1年中チューリップが咲く世界で唯一の場所。

加賀百万石

お手持ちのサイコロとコマを使って遊んでください。

金沢



金沢城公園（石川門）

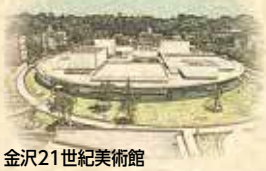
加賀百万石の城下町、金沢。風情ある町並みとともに、前田家歴代当主の振興した伝統工芸や伝統芸能が今なお息づいています。

【金沢市観光協会】☎076-232-5555
http://www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp/

金沢駅鼓門
能楽で使われる鼓をモチーフにした鼓門。金沢駅は日本で唯一選ばれた世界で最も美しい駅の一つ。



金沢21世紀美術館
円形ガラス張りで明るく開放的な現代アートの美術館。公園のように誰でも気軽に立ち寄ることができる。





兼六園

弐か四が出たら3マス戻る



宝円寺
前田家の菩提寺。越前府中から七尾、そして金沢へ移転。利家の自画像と髪を納めた御髪堂がある。



尾山神社



尾崎神社
4代当主前田光高が日光東照宮から家康の神霊を勧請して城内に造営した。明治に入り現在地に移転。



金沢箔
伝統工芸に欠かせない金箔の薄さはわずか1万分の1～2ミリ。金沢は全国生産量の99%を占める。

参が出たらひがし茶屋街に進む



武家屋敷跡 長町

1回休み





松根城跡
利家と佐々成政が攻防を繰り広げた山城。小原越、切山城跡とともに「加越国境城跡群及び道」として国指定史跡に答申された。



惣構跡
城下町を囲んだ堀や土塁のことで、慶長年間に内惣構、外惣構が築かれた。所々に遺構が残る。



近江町市場



ひがし茶屋街

1マス戻る



北国街道
江戸幕府によって整備された脇街道。追分で中山道と分かれ、善光寺を経て直江津で北陸道に合流。

南砺



五箇山合掌造り集落

有数の豪雪地帯に作られた急傾斜の切妻造り・茅葺きの民家群です。相倉、菅沼ともに世界文化遺産。

ユネスコ世界文化遺産の五箇山合掌造り集落を抱く五箇山をはじめ、香り高い歴史と文化、伝統の祭りや自然など「地域の宝」が豊富です。

【(一社)南砺市観光協会】☎0763-62-1201
http://www.tabi-nanto.jp/

必ず止まれ

小矢部



今石動城址

前田利家の甥、前田利秀が築いた今石動の町は、加賀藩の政治・経済の要衝地として栄え、前田家ゆかりの寺院が往時を偲ばせます。

【小矢部市観光協会】☎0766-30-2266
http://www.oyabe.info/

必ず止まれ

今石動
中世から近世に北国街道の宿場町として栄えました。今も旧道沿いに伝統的な商家が残ります。





メルヘンの街おやべ
市内には西洋風の有名建築をモデルにした35棟のメルヘン建築があります。



俱利伽羅古戦場

本行寺



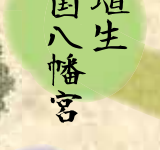
地上100mの展望室があるクロスランドタワーがシンボル。芝生広場や遊具で一日中楽しめる。



クロスランドおやべ

1回休み





護国八幡宮 埴生



瑞泉寺



善徳寺





岩瀬家



村上家

2マス進む

五箇山の中でも昔の様式を今に伝える。数千点の民俗資料やこきりこ踊りが鑑賞できる。



流刑小屋

2回休み





加賀藩大名行列図屏風（石川県立歴史博物館所蔵）

参勤交代ルートをたどって、殿様気分で物見遊山。

加賀藩の大名行列は最大規模で、人数は2000人以上、5億円もの費用を要しました。ほとんどが北国下街道から中山道に入るルートで、12泊13日の日程でした。現在の北陸新幹線のルートとほぼ同じです。他藩領は駆け足でしたが、加賀藩領内は比較的ゆったりした行程だったそうです。領内のゆかりの地や名所旧跡を双六に仕立てたので、殿様気分でのんびりたどってみましょう。

金沢



金沢市立玉川図書館近世史料館
宮下 和幸さん

城下町の金沢には、金沢城を中心に加賀藩を感じることができる魅力的な場所が多くあります。また、前田利家書状など全国的にも貴重な古文書類も保存・調査が進んでいます。



金沢城公園 MAP H-2

加賀藩前田家の居城。江戸時代の石川門と三十間長屋のほか、菱櫓、五十間長屋や玉泉院丸庭園などが忠実に復元されている。
㊡7～18時(冬期は8～17時)㊟無料(菱櫓等の入館は310円) ☎076-234-3800



兼六園 MAP H-2

日本三名園の一つ。宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉・眺望の六勝を兼ね備えるとして命名された。築庭は延宝3年に始まり180年を費やした。
㊡7～18時(冬期は8～17時)
㊟310円 ☎076-234-3800



長町武家屋敷跡 MAP H-2

中級の加賀藩士の屋敷跡が残り、土塀や用水が風情あるたたずまいを醸し出す。土塀の内側では今も市民生活が営まれている。
☎076-232-5555
(金沢市観光協会)



尾山神社 MAP H-2

藩祖利家と正室お松の方を祀る。全国的にも珍しい和漢洋折衷の神門は、最上階に色ガラスがはめ込まれ、夜間は幻想的に明かりが灯る。
☎076-231-7210



ひがし茶屋街 MAP H-2

石畳の道の両側に紅殻格子のお茶屋が並んでおり、今でも三味線や太鼓の音がこぼれてくる。京都・祇園と並び華麗な茶屋文化を今に伝える。
☎076-232-5555
(金沢市観光協会)



近江町市場 MAP H-2

享保6年の始まり以来、290年にわたり金沢の食文化を支えてきた「金沢市民の台所」。2.8haの敷地に約170店の商店・飲食店が軒を連ねる。
☎076-231-1462

高岡



高岡城跡(高岡古城公園) MAP E-7

慶長14年利長の築城。のち廃城となったが水堀や郭等の縄張は当時のまま。日本百名城に富山県内で唯一認定され、国史跡にも指定されている。
☎0766-20-1563



前田利長墓所 MAP E-7

利長33回忌の正保3年に利常が造営。当初は二重の水堀を構え、墓域は1万坪を誇った(全高11.9m)。金沢の野田山墓所と共に国指定史跡。
☎0766-20-1547
(高岡市観光協会)



瑞龍寺 MAP E-7

利長の菩提寺で曹洞宗の名刹。利常が建立した壮大な伽藍は日本で唯一典型的な禅宗寺院様式を残している。平成9年国宝に指定。
㊡9時～16時30分(冬期は～16時)
㊟500円☎0766-22-0179



金屋町 MAP E-7

400年の伝統が息づく高岡鋳物発祥の地。銅片の敷き込まれた石畳と千本格子(さまのこ)の家並みが調和した趣ある風情が味わえる。重伝建。
☎0766-20-1547
(高岡市観光協会)



山町筋 MAP E-7

山町は旧北陸道沿いの商人町で御車山を保有する10町のこと。明治の大火後に土蔵造りの防火建築が建てられた。重伝建。菅野家住宅は重文。
☎0766-20-1547
(高岡市観光協会)



高岡御車山会館 MAP E-7

利家が拝領した御所車を利長が町民に与えたのが始まりとされる高岡御車山祭の「御車山」を通年展示する施設。町歩きの拠点にもおすすめ。
☎0766-30-2497



高岡市立博物館
仁ケ竹 亮介さん

開町以来の町割りが残る高岡市街地は、江戸の絵図が今も使えます。また、伏木地区には大伴家持が赴任した国府跡(勝興寺)や二上山、雨晴海岸(有磯海)等の万葉の歌枕もありますよ!

南砺



大槻伝蔵(朝元)
(石川県立歴史博物館所蔵)
加賀藩士。加賀騒動で五箇山に配流され自害した。

南砺市は、五箇山地域が政治犯の流刑地として利用された一方で、塩硝(火薬の原料)や和紙、絹織物など藩への献上品の製造地として栄え、井波彫刻等も含めた伝統の技が今も息ついています。



相倉合掌造り集落 MAP J-6

世界遺産に登録されている合掌造り家屋23棟が現存しており、今なお生活が営まれている。全景が望める展望エリアにもぜひ足を運ぼう。
☎0763-66-2123(世界遺産相倉合掌造り集落保存財団)



菅沼合掌造り集落 MAP K-5

9棟の合掌造り家屋があり、歴史と伝統が体験できる民俗館や塩硝の館がある。火薬の原料となる塩硝は幕府に秘匿しながら300年間製造された。
☎0763-67-3008
(菅沼世界遺産保存組合)



岩瀬家 MAP K-5

築300年、総欅造り5層建てで合掌造り家屋最大の威容を誇る。明治まで35人の大家族が暮らしていた。囲炉裏端で合掌造りの説明が聞ける。
㊡8～17時 ㊟300円
☎0763-67-3338



真宗大谷派 井波別院 瑞泉寺 MAP H-6

北陸最大の伽藍を誇り、夏の伝統行事・聖徳太子御絵伝の絵解き説法が有名。随所に見事な井波彫刻が施されているが圧巻は太子堂の彫刻。
㊡9時～16時30分 ㊟300円
☎0763-82-0004



城端別院 善徳寺 MAP I-5

越中の小京都・城端に佇む風情漂う古刹は蓮如上人の開基。親鸞聖人直筆の「唯信抄」をはじめ1万点の寺宝の一部が展示されている。
㊡9時～17時 ㊟200円 ☎0763-62-0026 ※平成30年3月まで改修工事中



城端曳山会館 MAP I-5

城端塗りの粋を尽くした荘厳華麗な曳山を展示。照明が随時切り替わり、哀愁を帯びた庵唄を耳にしながら祭りの夜を疑似体験できる。
㊡9～17時 ㊡年末年始 ㊟510円
☎0763-62-2165

小矢部



前田利秀
（本行寺所蔵）
今石動城主。利家の弟・秀継の子。小田原征伐にも従軍。

今石動城の城下町として、また、北国街道の宿場町として栄えた今石動。愛宕神社、永傳寺、本行寺、観音寺などの前田家ゆかりの社寺が残り、往時のにぎわいが偲ばれます。



今石動城址 MAP F-5

越中攻略の拠点として利家が築き、弟・秀継とその息子・利秀が佐々軍と戦ったといわれる。秀吉も滞在。春は約600本のソメイヨシノが咲き誇る。
☎0766-30-2266
（小矢部市観光協会）



埴生護国八幡宮 MAP F-5

木曽義仲が戦勝祈願した古社で、前田家の寄進により社殿が拡幅。宝物殿には前田家ゆかりの古文書などが展示・公開されている。
☎0766-67-1220



倶利伽羅古戦場 MAP F-4

木曽義仲が角に松明をつけた牛の群れを用いて平氏の大軍を打ち破った源平合戦の舞台。春は約6000本の八重桜、秋は紅葉が楽しめる。
☎0766-30-2266
（小矢部市観光協会）



本行寺 MAP F-5

天文5年の創建。天正大地震で倒壊したが後に再建された。前田利秀の墓（五輪石塔）と利秀と伝わる肖像画が寺宝として遺されている。
☎0766-67-0479



稲葉山 MAP E-5

標高346.9mから眼下に広がる大パノラマは必見。牛の放牧場のほか遊具や展望デッキが設けられ、家族で楽しめる憩いの場となっている。
営9～16時 休月曜（開園期間は4～11月）☎0766-67-5175



宮島峡 MAP E-5

小ナイアガラと呼ばれる一の滝や二の滝、竜宮淵などの渓流美に癒される。12体ものビーナス像も点在し、散策しながら美術鑑賞も楽しめる。
☎0766-30-2266
（小矢部市観光協会）

氷見



阿尾城跡 MAP B-7

海に突き出す断崖にあり海陸交通を把握できる要衝。天正12年、佐々軍に勝利した利家が前田慶次郎らを入城させたという記録が残る。
☎0766-74-5250
（氷見市観光協会）



氷見市 藤子不二雄Ⓐまんがワールド MAP C-6

氷見出身・藤子不二雄Ⓐ氏のキャラクターが勢ぞろい。「忍者ハットリくん」カラクリ時計、藤子Ⓐ氏の作品やデジタル映像を楽しめる潮風ギャラリーは必見。
☎0766-74-5250
（氷見市観光協会）



光久寺 MAP C-6

加賀藩御用造園師・駒造の作庭とされる風雅な茶庭は「俯してみる池もよし、仰いでみる山もよし」といわれる。城端・善徳寺の庭とは"兄弟庭"と伝わる。
営8～17時 休12～3月 料志納300円程度 ☎0766-91-1690



ひみ獅子舞ミュージアム MAP B-6

担い手不足で獅子舞が途絶えている地域の手助けや後世への伝承活動を行う。獅子頭や天狗面の展示のほか獅子舞シアターも面白い。
営9～17時休月曜（祝日除く）、年末年始 料実演観覧は協力金 ☎0766-72-2454



ひみ漁業交流館魚々座 MAP C-6

地元住民とのふれあいを通して漁村文化が体感できる。天井から吊り下げられた全長70mもある越中式定置網は息を飲む迫力。
営9～18時（入場～17時30分）
休水曜 料300円☎0766-74-8018



道神社拝殿 MAP A-7

江戸後期に建立された石動山天平寺の開山堂を移築し、大規模修理で創建当時の姿に甦った。組物、扇垂木などに名工の技が見られる。
☎0766-74-8211



氷見市教育総務課
廣瀬 直樹さん

海に突き出した阿尾城跡や、加賀藩お抱えの堂塔大工集団「大窪大工」が建立した道神社拝殿、戦国末期には利家にぶりを献上した定置網漁など、加賀藩ゆかりのポイントが実はたくさんあります。

砺波



砺波市教育委員会
野原 大輔さん

砺波郡は加賀百万石のうち約20%の米を生産していた穀倉地帯。藩政期に米づくりに特化した結果、散居村（散村）という集落ができました。砺波郡は加賀藩を下支えした土地と言えるでしょう。



となみ散居村ミュージアム MAP G-6

散居景観の素晴らしさを発信する情報館、農村の昔ながらの暮らしを体感できる伝統館や民具館など散居景観や生活文化の魅力に触れられる。
営9～18時休水曜、第3木曜（祝日除く）、年末年始 料民具館100円☎0763-34-7180



出町子供歌舞伎曳山会館 MAP F-6

出町は加賀藩へ町立を願い出てできた市場町。全国的にも珍しい曳山子供歌舞伎は、町の発展に伴って築き上げられた絢爛豪華な祭文化。
営9～17時休水曜、第3木曜（祝日除く）、年末年始 料210円 ☎0763-32-7075



増山城跡 MAP F-7

上杉謙信が「堅牢強固な城」と称えた要害で、屋敷跡や土塁、塚などの遺構が残る。足軽兵が練り歩く増山城戦国祭りはファン必見。
☎0763-82-1904
（砺波市教育委員会）



千光寺 MAP G-7

本尊の観世音菩薩立像は奈良期の作。戦火で焼失した伽藍を利長が再建し加賀藩の祈祷所となったが再び焼失、江戸中期に再建された。
☎0763-37-0072



松川除堤防 MAP G-7

砺波平野を洪水から守るため、加賀藩は庄川の流れを一本にする工事を45年かけて実施。堤防を固めるために松の木が植えられた。
☎0763-82-1904
（砺波市教育委員会）



入道家住宅 MAP G-6

屋敷林を備えた大規模ヒロマ型農家の代表例で、砺波平野の散村に多いアズマダチ建築として貴重。現在の建物は嘉永6年の建築。
☎0763-82-1904
（砺波市教育委員会）

射水



射水市新湊博物館 MAP D-8

江戸時代の和算家・測量家石黒信由が残した貴重な地図や測量道具の展示物、新湊の歴史・民俗資料など楽しく学ぶことができる。
営9～17時 休火曜、祝翌日、年末年始 料310円 ☎0766-83-0800



新湊大橋 MAP D-8

晴れた日には富山湾越しにそびえ立つ立山連峰が一望でき、上空47mのプロムナードからは富山新港を行き交う船が眼下に広がる。
☎0766-82-1957
（射水市港湾・観光課）



海王丸パーク MAP D-8

多くの若者を育てた航海練習船、初代海王丸。年10回27枚の帆を全て広げる総帆展帆の姿はまさに海の貴婦人。
☎0766-82-5181
（伏木富山港・海王丸財団）



放生津八幡宮 MAP D-8

大伴家持が九州の宇佐八幡神を勧請して奈呉八幡宮と称されたのが創始であり、境内には大伴家持碑と芭蕉句碑が建っている。
☎0766-84-3449



射水市竹内源造記念館 MAP E-8

木造2階建の館内には、源造の鐙絵（こえ）作品や道具などを展示している。鐙絵体験も可能で子どもから大人まで鐙絵を学べる。
営9～17時（入館～16時30分）休月曜（祝日の場合翌日）☎0766-30-3288



射水市小杉展示館 MAP E-8

旧北陸道の町並みに残る明治期の銀行跡で国の登録有形文化財に指定。地元出身の日本画家、郷倉千靭の作品や小杉焼の常設展示をしている。
営9～17時（入館～16時30分）休月曜（祝日の場合翌日）☎0766-55-3338



射水市新湊博物館
松山 充宏さん

旧北陸道の宿場であった大門新町・小杉新町・下村、そして加賀藩が重視した湊町放生津に前田家ゆかりの社寺、町並み、文化が残されています。気軽に散歩していただければ幸いです。



北陸7市 金沢&富山県西部 エリアマップ

■お車でお越しの場合

大阪から

吹田IC — 1時間20分 — 米原JCT — 1時間50分 — 金沢西IC — 5分 — 金沢東IC — 3分 — 金沢森本IC — 11分 — 小矢部IC — 3分 — 小矢部砺波JCT — 3分 — 砺波IC — 4分 — 高岡砺波スマートIC — 6分 — 小杉IC — 1時間30分 — 上越JCT — 2時間30分 — 藤岡JCT — 50分 — 練馬IC — **東京から**

（吹田IC — 35分 — 一宮JCT — 1時間20分 — 荘川IC — 40分 — 白川郷IC — 14分 — 五箇山IC — 14分 — 福光IC — 7分 — 南砺スマートIC — 3分 — 小矢部砺波JCT）

名古屋から

一宮JCT — 1時間20分 — 荘川IC — 40分 — 白川郷IC — 14分 — 五箇山IC — 14分 — 福光IC — 7分 — 南砺スマートIC — 3分 — 小矢部砺波JCT — 2分 — 小矢部東IC — 3分 — 福岡IC — 5分 — 高岡IC — 4分 — 高岡北IC — 10分 — 氷見IC — 4分 — 氷見北IC — 6分 — 灘浦IC

名神高速道路　北陸自動車道　上信越自動車道　関越自動車道　東海北陸自動車道　能越自動車道

■電車でお越しの場合

大阪から

大阪 — 2時間30分 特急サンダーバード — 金沢

名古屋から

名古屋 — 2時間30分 東海道新幹線＋特急しらさぎ — 金沢

金沢 — 24分 IRいしかわ鉄道 — 石動 — 14分（小矢部） — 高岡

金沢 — 14分 — 新高岡 — 3分 — 高岡

氷見 — 27分 JR氷見線 — 高岡

高岡 — 7分（射水） — 小杉 — 11分 あいの風とやま鉄道 — 富山

高岡 — 19分 北陸新幹線かがやき — 富山 — 2時間10分 — 東京

新高岡 — 9分 はくたか・つるぎ — 富山 — 2時間40分 — 東京

新高岡 — 20分 — 砺波

砺波 — 30分 JR城端線（南砺） — 城端

越ノ潟 — 49分 万葉線（射水） — 高岡

新高岡—東京 2時間21分

金沢—東京 2時間30分